

4 「道」分科会 要旨

San-En-Nanshin Summit 2013 in Minamishinsyu

「道」分科会では、「三遠南信自動車道 一次代を拓く交通基盤-」をテーマに意見交換がなされた。

コーディネーター	飯田市	飯田市長	牧野 光朗
報告者	国土交通省 飯田国道事務所	所長	花木 道治
議会	浜松市議会	議長	太田 康隆
議会	豊橋市議会	議長	岡本 泰
議会	飯田市議会	議長	林 幸次
行政	阿南町	阿南町長	佐々木 暢生
行政	喬木村	喬木村長	大平 利次
経済	奥浜名湖商工会	奥浜名湖商工会長	手塚 二八郎
経済	天竜商工会	天竜商工会長	平賀 丈太郎
経済	飯田商工会議所	飯田商工会議所会頭	柴田 忠昭
経済	豊丘村商工会	豊丘村商工会長	片桐 力
住民	NPO 法人 地域づくりサポートネット	副会長	田中 孝治
住民	岩屋緑地に親しむ会	会長	西川 収示
パネリスト	八戸市	総合政策部長	大坪 秀一

(敬称略)

■はじめに

コーディネーター／飯田市 牧野市長



皆様、改めましてこんにちは。飯田市長の牧野光朗でございます。飯田商工会議所の柴田会頭初め参加市の皆様方、どうぞよ

ろしくお願いいたします。

本日の進行につきましては、前年のサミットの議論のまとめ、それから今回のテーマについて事務局から説明をしてもらいます。続きまして、国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所の花木道治所長様に、本日、来ていただいております。ありがとうございます。花木様から三遠南信自動車道の整備効果とリニア時代の地域づくりにつきまして、ご報告をいただきます。これらを踏まえまして、「三遠南信自動車道一次代を拓く交通基盤-」というテーマから、今後推進していきます事業等につきまして、それぞれの皆様方からご意見をいただきました

いと考えております。

それでは、まず事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、前年度の議論につきましておさらいしたいと思います。

前年度の「道」分科会では、第1期の重点プロジェクトを総括し、第2期に向けての方向性が議論されました。まとめますと、これから述べます次の3点となります。

1点目としまして、三遠南信自動車道の整備により、東名高速道路、新東名高速道路、浜松三ヶ日・豊橋道路、三遠伊勢連絡道路、さらには将来的にリニア中央新幹線が連絡することで広範なネットワークが形成され、そのつながりがさまざまな交流を生み出すであろうこと、これを1点目としております。

2点目としまして、三遠南信地域の産業のさらなる活性化に向け、地域と地域を結び、海外へとつなげるためにも、三河港、御前崎港といった港湾へのアクセス向上が必要なこと。

3点目としまして、東日本大震災で高規格幹線道路が大きな効果を発揮したように、医療機関への搬送路や災害時における緊急輸送路となる命をつなぐ道としてミッシングリンクとなっている三遠南信自動車道の整備が大切であり、こうした地域からの意見を実現するためには、各期成同盟会等による要望活動やキャンペーンを今後も継続的に行うとともに、県境を越え、これまで以上に地域が一体となって広域交通機関の整備促進に取り組む必要があること。

以上3点を前回のまとめとしております。

続きまして今回のテーマ、狙いといたしましては、日本の中央回廊の形成を目指し、ビジョンを推進する中、三遠南信の南北軸として交通、物流、防災、観光、産業など

諸分野の発展の礎となる三遠南信自動車道の整備は喫緊の課題であります。また、リニアに接続する最短ルートとしても期待される中、皆様の地域の交通基盤の進捗状況とその効果についてお話しいただき、今後の展開について議論を進めるため、「三遠南信自動車道一次道を拓く交通基盤」をテーマに議論をしていただきます。

先ほど述べました前年度の議論を引き継ぎ、さらに発展的な意見交換をお願いいたします。

コーディネーター／飯田市 牧野市長

ありがとうございました。

それでは続きまして、三遠南信自動車道の整備効果とリニア時代の地域づくりにつきまして、国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所長様の花木道治様、よろしくお願いたします。

■報告

国土交通省中部地方整備局 飯田国道事務所 花木所長

皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました国土交通省飯田国道事務所長の花木でございます。日ごろより本日もご出席の皆様方には国土交通省、とりわけ道路行政に対しまして深いご理解、ご支援をいただいております。この場をおかりして、改めて御礼を申し上げます。

今回の三遠南信サミット「道」分科会のテーマでございますが、今お話しありましたように、「三遠南信自動車道一次道を拓く交通基盤」ということでございます。まず、私のほうから皆様方の議論の参考にしていただければと思ひまして、三遠南信自動車道の現在の事業の進捗状況及び三遠南信自動車道の整備に伴う事業の効果について、報告のほうをさせていただきたいと思ひます。また、この三遠南信地域、特に飯

田市さんのところがございますが、14年後にはリニアの新駅ができることになってございます。この三遠南信自動車道とリニアが結ばれることによりまして、当地域が劇的に変化するものと思っております。そういった意味で三遠南信自動車道、リニアを見据えたこの地域の地域づくり、将来像といったことについても最後のほうで少しお話をさせていただきたいと思えます。

それでは、まず三遠南信自動車道の現在の事業の進捗状況について、お話しさせていただきます。

現在、図にもありますように飯喬道路、それから小川路峠道路、青崩峠道路、それから佐久間道路・三遠道路のうち3区間で事業を実施しております。このうち飯喬道路の1工区、飯田山本インターから天龍峡インターにつきましては平成20年、それから小川路峠道路というのは平成6年、それから昨年でございますが平成24年に佐久間道路・三遠道路のうちの浜松いなさジャンクションから鳳来峡インターまでの間が開通したところです。

事業中の区間につきまして、北から見ていきます。この黄色のところでございますが、飯喬道路の2工区、それから飯喬道路の3工区、それから青崩峠道路、それから佐久間道路・三遠道路といったところで事業を展開しております。また、(仮称)水窪北インターから(仮称)佐久間インターの間につきましては、今年度から国におきまして計画段階評価を進めるための調査のほうに着手しております。

事業の内容を少し具体的にお話しさせていただきます。まず、長野県側の進捗状況でございますが、飯喬道路のうち(仮称)天龍峡インターから(仮称)龍江インターの間につきましては、現在改良工事と橋梁の上部工事を行っているところであります。次の区間の(仮称)龍江インターから(仮

称)飯田東インターの間につきましても同様でして、改良工事と橋梁の上部工と下部工の両方を進めております。次の(仮称)飯田東インターから喬木インターの間、一番右側の区間ですが、この間については調査及び設計を進めている一方で、飯田市の区間につきまして道路改良工事と橋梁の下部工事に着手しているところです。

なお、今年の6月ですが、喬木村の氏乗地区に追加のハーフインターの設置が認められました。このインターとそれから現在供用している喬木インターと合わせて、これでフルの形になるインターとなります。

現在、この区間は用地調査等を実施しております。地権者さんと交渉が整い次第、用地買収、それから工事借地等の締結に入っていきたいと思っております。できるだけ早い時期に工事着手をしていく予定であります。

次に青崩峠道路ですが、現在は環境調査、それから水文調査等を実施しております。工事のほうですが、長野県側では写真の左から三つ、工事用道路を順次行っているところです。静岡県側につきましては、本体トンネルを出たところにかかる本線部橋梁の下部工に、着手をしております。

この後、今年度中にこのトンネルの調査坑の工事に入っていきたいと思っております。現在、長野県側では公告中でございます。1月には事業者が決まる予定です。

また、静岡県側につきましても同じく調査坑の工事に入っていくため、現在手続をしているところでございます。3月中には事業者が決まる予定です。

次に、静岡県側でございますけれども、現在、佐久間道路・三遠道路の事業を行っております。(仮称)佐久間インターから(仮称)東栄インターの間につきましては、平成30年度の供用を目標に、写真1から7にありますように、一部佐久間第1トンネ

ルにも着工しております。また、改良工事等を進めているところです。

それから、（仮称）東栄インターから鳳来峡インターまでの間ですが、今年度は用地買収、それから測量設計等を行っていく予定です。

工事等の事業進捗状況につきましては以上ですが、次に三遠南信自動車道が整備されることによりまして、三遠南信地域に期待される効果について、4点ほどご紹介させていただきます。

まず1点目でございますが、三遠南信自動車道が整備されることによりまして、この三遠南信地域における交通ネットワークが、高速ネットワークとして確保されるということでございます。図にもありますように、三遠南信自動車道が整備されることにより、この三遠南信地域において、高規格幹線道路のインターへのアクセス時間が60分以上を要する地域はすべて解消されます。1時間以内にそれぞれのインターに行けるようになります。また、長野県と静岡県を結ぶ主要幹線道路であります国道152号は、県境付近に通行不能区間がありますが、これも回避でき地域の皆様方の生活の利便性向上も大きく図られるものと思っています。

2点目ですが、災害に強い地域のネットワークが構築されるということです。右の図の中の赤い丸でございますが、これはそれぞれの地域の事前通行規制区間でございます。これは、雨が降りますと、災害発生の恐れがあるために事前に止まってしまう区間ですが、三遠南信自動車道ができますとこれらを回避することができるようになります。そして、地域生活においても、雨による影響を受けない、安心・安全な災害に強いネットワークが確保されるということになると思います。

三遠南信地域では平成8年に三遠南信災

害時相互応援協定というのが締結されておりました。三遠南信自動車道の整備によりまして災害時の地域の安全性、信頼性がさらに強化されることになると思っております。

次に3点目ですが、地域医療のサービスが向上すると考えております。三遠南信自動車道の整備に伴いまして、第3次救急医療施設にたどり着くまでの60分圏域が大きく拡大するというところでございます。遠山郷から飯田市内の医療施設への搬送時間につきましても約50分短縮されるということでございます。

また、飯喬道路のうち、飯田山本インターから天龍峡インター間の開通後は、救急車両がこの区間を通るということで、時間短縮のみならず信号が当然ありませんし、急停車することがないということで搬送患者への負担も大きく軽減されたと聞いております。

最後4点目でございますが、高速サービスの向上に伴いまして地域間の連携強化が図られると思っております。観光や交流支援を例にとってみますと、三遠南信自動車道の整備によりまして浜松市と遠山郷とのアクセスは約90分短縮されることとなります。このように沿線地域の時間短縮が図られることから、南信州の天竜奥三河国定公園や三河地域の奥三河国定公園、それから遠州地域の浜名湖観光圏等との連携、活性化が図られるとともに、観光客の誘致活動支援にもつながるものと期待しています。

次に、実際に開通した後の効果事例を2点ほどご紹介させていただきたいと思っております。

まず1点目ですが、これは皆様もよくご存じだと思いますが、高校生のバス通学が実現したということです。平成6年の矢筈トンネルの開通によりまして、南信濃地域から飯田市までの間が約1時間短縮された

ために、南信濃から飯田市内までを結ぶバス路線というのでも開設されました。これまで下宿生活を余儀なくされていた高校生のバス通学が可能になったという大きな効果が出ています。ちなみに親御さんの負担ですが、月当たり下宿代が8万円ぐらいかかっていたのが、バス代として月当たり3万円ぐらいで済むようになったということです。ただし、家から通えば食費等がかかりますので、もう少しかかっていると思われるのですが、そういった報告を受けております。

それから、2つ目ですが、観光施設への集客数がかなり向上したという点が挙げられます。既に昨年供用しました佐久間道路・三遠道路の鳳来峡インターから浜松いなさ北インターまでの間でございますが、この供用によりまして左上のグラフにもありますように、東栄町のとうえい温泉への入込客数が開通前に比べて1.4倍に増えている状況でございます。また、阿南町の道の駅の信州新野千石平ですが、ここにおきましても入込客数が1.2倍に増えております。

三遠南信自動車道の現在の整備状況、整備効果についての報告は以上ですが、いずれにいたしましても中央道と新東名と連携、連絡しまして、三つの地域間の連携強化と秩序ある発展のため、私どもの未供用区間も含めて早期開通を目指して鋭意事業を進めてまいりたいと思っております。引き続きご支援、ご協力のほどをよろしく願いいたします。

続きまして、冒頭にお話をさせていただきましたリニアの関係を少しお話しさせていただきますと思います。

先月の9月18日でございますが、リニア中央新幹線の環境影響評価の準備書が公表されまして、詳細なルートと駅の位置が明らかになりました。リニアの開通後は飯田市と東京との時間距離が劇的に短縮される

ことになります。現在は中央高速バスを利用して、東京の新宿まで約4時間かかっていたものが、リニアが2027年に開通すれば、品川まで40分で結ばれるということになるわけです。また、海外から来ていただく、こちらから海外へ出て行く主要な空港へのアクセスについても、現在3時間から5時間かかっていたものが2時間以内でたどり着けると考えられます。こういったことから、国内外を問わず広域的な範囲からこの南信地域への交流人口の増加も大きく期待されると思っております。

そして、このリニアによって生まれた時間短縮によります効果を最大限生かすためには当然、この当南信地域内の方々が容易にリニア駅を利用できるということが非常に重要だと思いますし、また反対にリニアを使ってこの地域へ訪れた方々もスムーズにいろいろな目的地へ移動できるということが極めて重要になってくると思っております。そういった点では特に地域内の移動の高速性といったものをいかに確保するかということになってくるかと思っております。高速道路の結節の強化というのが重要な点だと思っております。既存の高速道路のインターへのアクセス性についてバイパス等により改善を図るですとか、高速道路の結節点をスマートインターチェンジ等によって増やすといった取り組みが必要になってまいります。そういった意味では、このリニア効果を三遠南信地域全体に波及させていくといった点では、三遠南信自動車道の整備も当然ながら大きなポイントになってくると思っております。

ほかにも駅周辺の拠点サービスの整備やJR飯田線との接続といった課題がありますが、まずもって「道」分科会から言わせていただければ、そういったアクセス性の向上というのが極めて重要になってくると思っている次第でございます。

南信地域が三遠南信地域の北の玄関口ですが、その役割を果たすためにもこの三遠南信自動車道は必要不可欠なものであると思っております。重ねて申しますが、三遠南信自動車道の整備によりましてリニアの効果を三遠南信地域の広い範囲に波及させることができるのではないかと考えております。

最後に2点ほど、三遠南信自動車道とリニアとの連携によって期待できる効果について、お話をさせていただきたいと思っております。

まず1点目ですが、観光振興、観光連携といった点が考えられます。リニアの開業を見据え、新たな連携での新駅周辺の拠点整備や海外からの玄関口としての機能が整えられることによりまして、インバウンド観光を含む観光需要を増加させて他の地域との連携強化が図られるなど、三遠南信自動車道を介して三遠南信地域を含んだ広域的な連携が図られると思っております。

絵の左側の青い龍が今、中部運輸局で進めていただいている「昇龍道」というプロジェクトです。セントレアと北陸道および東海北陸道を背骨にしまして能登半島へ抜く事業でございます。当然、竜といえば天竜川、天竜ということで、絵を少し描いてみました。セントレアから中央道・リニアを通過して、この伊那谷を通過して、諏訪湖までという絵を1枚入れてみました。まず左足が三遠南信自動車道を示し、右足は下呂のほうへ向かう。手のほうは、左手が国道152号を示し、右手は国道361号を使って飛騨高山のほうへ向かいます。それから、竜が口で火を吹いておりますが、これが中部縦貫道というようなイメージを画にしてみました。参考程度に見ていただければと思います。

二つ目は企業誘致の関係でございます。南海トラフ地震など沿岸部での地震や津波

のリスクなどの災害リスクを企業リスクと分散するために、当然この沿岸部から内陸部への拠点分散といったものも考えられるわけです。当然、三遠南信自動車道は極めて重要になってくると思っております。

同時に、商業圏の拡大や観光、通勤圏の拡大等による新たな人材確保を背景とした地域産業の育成など期待できるのではないかと考えております。

三遠南信自動車道とリニア中央新幹線の高速交通網の整備によりまして、この南信地域には大きく変化がもたらされるものと思っております。そして、この地域の活性化、発展というものが、ひいては三河地域、遠州地域とのつながりをさらに強固なものとするのではないかと考えております。三遠南信地域250万流域都市圏構想の実現に向けて、強力な後押しにもなるものと思っております。

現在この地域では地域づくりの将来像を描くために各方面でいろいろ議論が展開されているわけですが、いずれにいたしましても、地域の皆様方が主体となってこの地域の将来像を議論していただくことが極めて重要ではないかと考えております。私もこの当地の一人としまして期待しております。

少々長くなりました。これで私からの報告を終わらせていただきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



■意見交換

コーディネーター/飯田市 牧野市長

交通基盤の整備状況につきまして、花木所長にご報告をいただいたわけですが、実際に道路を使用する立場から見た交通基盤の整備、計画状況についてご紹介をいただければと思います。あわせて、整備によってどのような効果が生まれているか。これから整備が予定されている地域につきましては、将来どのような効果を期待するかについて、意見をお聞かせいただければと思います。

なるべく2回ぐらいご意見を伺いたいと思いますけれど、1回にまとめていただいても結構ですが、ぜひ3分以内でお願いできればと思います。

まず、交通基盤の整備状況について、それから整備効果について、あわせてお聞かせいただきたいと思います。

最初に住民代表の立場から、議長のお三方からそれぞれお願いできればと思います。まず、浜松市議会議長 太田様、よろしく申し上げます。

浜松市議会 太田議長

交通基盤の整備状況と整備効果についてお話しさせていただきます。あわせた回答になってしまうかもしれませんが。

平成24年は私たち浜松市にとって大変、交通基盤整備という意味では大きな年でありまして、一つは三遠南信自動車道の鳳来峡・浜松いなさ北間が開通したこと。それから、新東名が4月に静岡県区間供用開始されたということで、東西と南北軸がつながりまして、大変大きな効果を発揮しています。

浜松市内から三遠南信自動車道・新東名にアクセスする道路も、いなさジャンクションからは国道257号について、部分改良が始まっております。また、新東名の浜松

浜北インターチェンジからは浜松天竜線という都市計画道路を、従前から継続して整備しているところでございます。こうした形で大きな幹線道路の軸が形成されますと、それに付随しますアクセス道路も整備されていく状況がありますが、当市は地域交通の自家用車分担率が大変高く、70%近くある都市であるものですから、車がないと動けないということで、大変ありがたい状況だと思っています。

ただ、これはお願い事になってしまうわけですが、先ほど花木所長からご報告がありましたように、三遠南信の佐久間道路まではある程度めどが立ち、平成30年の完成を目指して進めていかれるということですが、それから以北の佐久間インター、水窪北インターチェンジの32キロ、現道活用区間について、課題となっております。これについては平成24年から計画段階評価のための調査を始めていただきまして、これまで2回の委員会を開催していただいているところです。あとは3回目の委員会ぜひ早期に開催されて、国の方針をある程度示していただければ、我々も全力で協力して参りたい。そんな思いでありますので、ぜひ所長にもご協力賜ればというふうに思います。

また、整備効果についてですが、先ほども触れたように自家用車の交通分担率の高いまち、浜松ですので、道路整備は欠かすことができません。特に今回、三遠南信自動車道の鳳来峡からいなさ北インターチェンジまで開通したことにより、佐久間町周辺の北遠と呼ばれる地区の第3次救急医療体制が大変充実しました。つまり、3次救急については、三遠南信自動車道を使って浜松市内の病院まで搬送することができるようになったということで、住民としても大変ありがたいという声が寄せられております。それから、観光とか物流の面でも、

特にこれは恐らく東三河とか北遠に効果があるのでしょうけれども、新東名を活用して来られる方が結構増えているという印象を持っております。

それから、浜松市は産業のまちですので、今、新ものづくり特区を計画しております、サービスエリアのスマートインター周辺地区約88ヘクタールについて、事業調査に入りました。これについてはどのくらいの規模になるかはこれからの話ですし、農業調整もごさいますので、先はまだ不透明ですが、産業誘導地区として整備していきたいというような、そんな考え方も持っております。

いずれにしても、三遠南信地域はそれぞれ特色を持った地域の集まりですので、相互補完といいますか、お互いに足りないものを補完し合えるような、そんなことをこの道路が果たしてくれればいいなというふうに思っておりますし、また花木所長も触れられたように、特に3・11以降、私たち沿岸部を抱える地区、都市としましては、防災面でどうしても東西の道路だけでは発災のときにさまざまな活動が制限されるということで、この南北の道路を何としても、高規格の南北道路が早期に開通させていただきたいと、そんな思いでおります。

豊橋市議会 岡本議長

私どもからは、特に国道23号の話をさせていただきたいと思います。国道23号の名豊道路につきましては、ご案内のとおり豊橋と浜松圏と西三河、それから名古屋圏等を結ぶということで、昨年10月に豊橋バイパスが全線開通し、続いて本年の6月には豊橋の東バイパスにつきまして、浜松寄りのバイパスも全線開通をして、浜松方面への潮見バイパスと23号バイパスの直結という形ができております。

また、西三河方面については全線開通し

ているところがあるのですが、一部、蒲郡地域におきまして供用区間がなく、いわばミッシングリングの状態になっておりますので、蒲郡地区の部分について全市挙げて早期の開通に向けて一層の事業推進を求めているといけないというのが現状です。

その国道23号関係の効果ですが、こちらについては私ども豊橋市を含めた三河湾、三河港方面への産業的なアクセスというのが飛躍的に向上しておりますので、産業面に対しては影響力が非常に大きいということで経済界の皆様からも一定の評価をいただいておりますし、それからもう一つは、国道1号が、特に私ども豊橋市内においては市役所の周りの中心市街地を走っておりまして、そのあたりを通行していた車両等が国道23号へ回った関係でかなり交通量が減少し、渋滞緩和並びに自然と生活両面の環境について大変大きな改善効果が、数字も含めて大きく上がっています。

そして、もう1点は、先ほど浜松市の太田議長様からもご報告がありましたとおり、佐久間道路、それから三遠南信自動車道につきましても一定の整備がされまして、特に私ども東三河の中でも北部圏については生活、一部観光、それからもう一つはやはり命の道の一部ということもありますので、医療的な効果も含めてそのアクセスが生活・文化・経済全体に及んで飛躍的な高まりを見せているというのが今の状況です。

飯田市議会 林議長

私からは三遠南信自動車道の南信州地域における整備進捗状況について、お話しさせていただきます。先ほど花木所長からもご説明があった部分がございますが、よろしくお願ひしたいと思います。

三遠南信自動車道の飯田山本インターチェンジから天龍峡インターチェンジまでの7キロメートルについては、5年前の平成

20年4月に既に供用開始されています。飯橋道路2工区としての天龍峡インターから仮称龍江インター間の4キロメートルにつきましては、2年後の平成27年度に供用開始予定、さらに仮称龍江インターチェンジから仮称飯田東インターチェンジの3.4キロメートルにつきましては、平成29年度に供用開始の予定と伺っております。

また、飯橋道路3工区としての仮称飯田東インターから喬木インターの7.5キロについては、現在飯田市内の上久堅地籍におきまして工事が施工されております。また、喬木村の中におきましては測量設計、用地調査が行われている段階でございます。

それから、国道152号の現道活用区間の21キロメートルについては、南信濃地区において長野県による工事が施工されております。また、長野・静岡県境の約6キロメートルの青崩峠道路、ですけれども、今年度から長野県側におきましても本線工事に着手されました。

続いて、三遠南信自動車道の効果についてですが、飯田山本インターから天龍峡インターまでの供用開始によりまして、名勝天龍峡への観光客の増加傾向が見られます。

また、新東名高速道路、三河道路の一部供用開始により、南信州地域への観光客も増加傾向を示してきています。特に日本の原風景であります遠山地域の観光客は、宅配便会社のCMの影響もありますが、平成24年度前半の統計では、下栗の里で15%の増、しらびそ高原で25%の増というような大きな効果が出てきておりまして、地域の皆様、関係の皆様大変喜ばれているところ です。

それから、飯橋道路の沿線においては、観光農園や農業体験等のグリーンツーリズムが積極的に展開されており、全線開通により観光振興の支援も期待される ところ です。

そして、整備効果として、地域が切実に期待しておりますのは、地域の医療サービスの向上でございます。三遠南信自動車道の整備により、遠山地域から第3次救急医療施設である飯田市立病院への搬送時間が現在の約80分から約30分に短縮され、救命率の向上にもつながってきております。一部供用開始の段階であります が、既にこのような効果があらわれておりまして、全線開通によりさらにこの3圏域の連携交流の推進とともに交流人口の増大、あるいは観光振興などに大きな効果が期待されて おりますので、ぜひとも1日も早い供用開始を願っております。

以上でございます。

阿南町 佐々木町長

今、それぞれの議長さん方からお話しいただき、浜松市長も言われたように、平成24年度に新東名高速道路と東名高速道路が浜松いなさジャンクションから三ヶ日ジャンクションが結ばれました。なおかつ、引佐から三遠南信自動車道が鳳来峡インターまで供用開始されました。これが非常に大きな影響を与えたわけであり ます。私ども阿南町は国道151号沿いの町なのですが、この鳳来峡インターが供用開始されたことによっ て、今までは浜松ナンバーの車が非常に多かったのですが、今度は静岡、沼津のナンバーが多く来られるようになってきた。先ほど飯田国道事務所長が言われたように新野の道の駅、千石平では供用開始前と供用開始後では来客が20%も増えているという状況であります。

それと来年の夏には新東名高速道路が豊田東ジャンクションまで供用開始されるとお聞きしておりますが、そうしますと今度は伊勢湾岸自動車道を使用して三重県からもこの南信伊那谷へ来られることも考えられます。遠隔地でも身近に感じられる道路

になってくるということになり、高速道路のネットワークが整備されることによって、人の流れというのはまるで変わってしまうという状況が発生しており、非常にありがたいことだと思っています。しかし、整備状況の中で鳳来峡インターをおりて国道151号を通過してこの伊那谷へ入ってきていただくこととなりますが、国道151号にまだ未改良区間があるので、これはぜひ早急に改良をお願いしたい。新東名高速道路が今後、豊田東ジャンクションにつながった場合には車の流れが大きく変わってくると想定されるわけで、重ねて国道151号未改良区間について早急なる改良をお願いしたい。また、先ほどの飯田国道事務所長のお話によりますと、三遠南信自動車道が佐久間道路から始まりすべて天龍峡インターまでつながるのは、まだまだ時間がかかり、供用開始される時期についてまだ明確にならないようであります。供用開始までは非常に長い間があくというような気がしますので、それまでの間にはぜひ早い時期に一般国道151号の改良をお願いしたいと思っております。

整備効果については先ほども申し上げたとおり、高速ネットワークが結ばれることによって非常に大きな効果というのは出てくるわけで、ましてやりニア中央新幹線ということになりますと愛知県の設楽町さんや東栄町さん、豊根村さんにお住まいの皆様がもし東京へ行こうとする場合、国道151号やおそらく供用開始されているだろう三遠南信自動車道を北上して、飯田の長野県駅を活用したとすると1時間半ぐらいで東京へ入れるというようなことも想定され、そうなりますと東三河の皆様方は三遠南信自動車道を使っての東京への出入りというのが基準になるようなことも考えられ、非常に効果絶大だということに思っております。1日も早い改良促進がなされること

を切に要望します。

喬木村 大平村長

私のところは飯喬道路の第3工区、いわゆる喬木の工区であります。道路計画の説明も実施されまして、いよいよ新年度から工事用進入道路の着手にかかるという説明をいただいております。その間、地域インターとして先ほども飯田国道事務所長からお話がありましたが、氏乗インターチェンジも正式に決まりまして、喬木村としては喬木インターチェンジと氏乗インターチェンジと合わせてフルインターということになり、大変ありがたいことだと思っております。

これから工事が始まります、いわゆる村内の喬木工区でありますけれども、非常に橋梁が急で、またトンネルが11カ所と計画されており、発生土も喬木工区のみで60万立米と予想されています。したがって、その発生土の処理、あわせてアクセス道路の整備も国・県のほうへ要望していかなくてはなりません。特に狭隘な道路が非常に多いということで、工事に関して安全・安心のためにぜひそんな面をお願いしていきたいということと、整備効果の拡大もそれに伴って図っていきたいと思います。

リニア中央新幹線の話もありましたけれども、喬木村も今回の準備書公表によりまして、通過路線等も明らかになった関係で、通過沿線地域帯ということになりました。三遠南信自動車道もリニア中央新幹線も今後の地域の重要な基盤整備に加え、アクセス道路の整備により、さらなる利便性の向上が図られるということで、いろいろな面に効果があらわれてくることを期待しております。

先ほどもお話がありましたけれども、高速ネットワークが開通しますと、中山間地帯の輸送、それから救急医療体制などにつ

いて当然利便性が高まってくるわけであり、村で今、盛んに行われておりますイチゴ狩り観光などの観光農業の充実が図られ、交流人口の拡大につながると期待しております。また、自然を生かした体験観光を進める中で、今、盛んに言われております二居住型のライフスタイルを推進し、保健や雇用等への効果も将来的に期待を持っていきたいと考えております。

また一面では、中山間の過疎化が進んできてしまっており、今回のこういった三遠南信自動車道やリニア中央新幹線の開通を見据えて、国交省のほうで行われております地方拠点整備を、これも行っていく必要があると考えております。どうしても、そういう形をとらないとこれからの安全・安心の居住体制がなかなかとれないということで、そんな面も含めながらこれから整備効果がさらに上がるように一層の推進を図っていききたいと思っております。

奥浜名湖商工会 手塚会長

三遠南信自動車道が一部開通したことにより、今、若者というか、いろいろな地域の人も、昔の人に比べ、愛知県だ、長野県だ、静岡県だという考えが意外と薄い。行けるところは自分のところだというような考えが非常に強くなっています。そんな中で私たちのところは東名高速道路、また新東名高速道路、それに今度は三遠南信自動車道と三つの合流地点にあるものですから、それに加えて3・11以降、山間部というか、海から離れたところが非常に見直されているところです。「いろいろな仕事」、「いろいろな若者」が商売・事業をやるにしても、昔は出て行ったけれど、今は帰って来ると表現したらいいのか、「この地域でやっていきたい。」というような意識が非常に強くなっているのです。私たちはいろいろな意味でチャンスというか、我々にと

って望ましい時代に入ってきたのではないかという感があり、その中でぜひとも三遠南信自動車道について、本当に1日でも早く通してほしいと願っております。リニアが通ったり、三遠南信自動車道が通ったりすれば、本当にもう、「ちょっと行ってくるよ。」と言って、すぐ帰って来られるような、そんな地域になるかと期待をしております。

我々の地域は新ものづくり特区の計画地域内でもありますので、「これからかな」というような感じですか。ですから、こういったいろいろな集まりや、また、「浜松だ、豊橋だ、愛知県だ、長野県だ」というのを取っ払って、こういういろいろなぎゅっばらんにお願ひしたり、お願ひされたりする、こういう機会をつくり、さらに、我々商工会の若い人でもいろいろな交流をさせてもらって、皆様とともにいろいろな地域間の交流をし、発展をさせていくことを皆様にお願ひしたいと思ひます。

天竜商工会 平賀会長

私ども、いなさ・鳳来峡間が開通しまして、しょっちゅう走っているのですが、本当に都合がいいというか、地元の皆様方も非常に喜んでおります。

それに私どもの地域は三遠南信自動車道の佐久間インターが川合にできるのですが、このトンネルの土砂等につきまして、廃土の場所も畑など様々な場所を確保しまして、いつでも土砂を捨てられるような状態まで持ってきています。

また、そのインターから水窪地域に向かうルートについて、3案あると聞いておりますけれども、三遠南信自動車道は一部既存道を利用するが、水窪までほとんどトンネルのルートとすることが、私は望ましいと思ひます。なお、既存道は地域の住民の生活の道路ですので、安全で安心な交通とな

るよう改良工事の継続を希望します。

豊丘村商工会 片桐会長

豊丘村は喬木村の北隣に位置しております。今回、リニアのトンネルが通るぐらいで、今回の三遠南信自動車道もそこを通るわけではありませんが、非常に隣接し、またこの道路ができることによって期待することがたくさん考えられます。昔から東三河・遠州というのは非常に我々とは近い関係にあり、塩の道でもあり、材木もこの天竜川を通して流通されていたと聞いております。また近年、中央自動車道ができてからは非常に近い関係にはなっております。しかしながら、まだまだ浜松、豊橋に関しては非常に遠い感じがします。個人的にも浜松へ行ってみたいと思うけれど、なかなか大変な思いであの道を通らないといけないというわけですが、たまに行っても近いような、遠いような町だなという感じを得ています。三遠南信自動車道が開通することにより、人と文化と商品と農産物や海産物の行き交いが活発になり、あわせて観光の飛躍的発展が間違いなく得られるであろうと思っています。私どもはたまたま広域に販売している商品を持っているわけですが、私どもが浜松へ行こうと思うと大変な大回りをしなければいけない。三遠南信自動車道の開通でそれが「すぐに行ける。」「日帰りもできる。」、あるいは「もっと遠くまで商売ができる。」というように変わる。非常にそういう意味で幅広く行動範囲が広がるという点でも期待がされるところでございます。

また、豊丘村においては6次化産業ということで、いろいろ村を挙げて取り組んでいるところですが、そういったものも皆様が豊丘村へ見えたら、こんなにおいしいものがあると紹介できる、またこちらからも販売に行くこともできると、こんなような

関係が築けるのではないかと、こんな期待をしているわけでございます。

また、交流のことですが、今日、ここにいらっしゃる方々はそれぞれの立場の偉い人ばかり出て、年代がかなり古くなって、完成した段階で利用できるが来られているのかなど、こんなような思いがするわけで、そういった意味で、もう少し青少年だとか30代、40代、50代、というような幅の広い年代層による交流が必要ではないかと、これは本当に思います。若い世代が「だれか、どこかの偉いおじさんたちが一生懸命山の中へ道路をつくと大騒ぎしている。」と、人ごとのような感じがするのではないかと危惧する。期待をどのくらいしているのかという意味では、もう少し若い世代の方々との交流もどうやってやるのがいいか検討するべきではないか。できることから一つずつやっていけばいいのではないかなど、こんなことも思っております。

当然、先ほどから出ている危機管理、地震、津波だとか雨だとか災害、それから医療の関係、命の道とか、そういう点では非常に期待されることでございます。

飯田商工会議所 柴田会頭

まず、整備の状況につきましては、先ほどパワーポイントを使って花木所長から詳しいお話がございました。それから、林飯田市議会議長からもさらに突っ込んだお話がございましたので、改めて私のほうから工区がどうなっているというようなことは発言いたしません。

いずれにしても、今年1月に10兆円を超える大型予算、補正予算がつきまして、三遠南信自動車道にも大きな予算配分が行われました。そのことによりまして三遠南信自動車道の建設工事が一気に進んだなどという感じが、私が現場を見ましてもつくづくそういうふうに思うところでありまして、

やはり毎年、毎年、国土交通省あるいは国会などへ浜松、それから豊橋の会議所の会頭さんと一緒に陳情してきたことがやっと実を結んできたのかというふうに思っております。ただ、毎年、毎年、「あと10年後には開通」、「あと10年後には開通」と言い続けて10年以上たっているわけでありませうけれど、今年度のような大きな予算がついてくれば、それから青崩峠の起工式が終わってくわ入れが済めば、一気にトンネル開通も期待できるのではないかと期待しております。7年後のオリンピックの開催までにはできないと思いますが、期待をしたいと思うところでございます。

それから、リニア新幹線が9月18日に発表になりまして、私も説明会に行つてJR東海の説明を聞いてまいりました。これも花木所長のお話にもございましたが、決まったルート、それから駅の位置、これを中心にどういう形で三遠南信地域の北の玄関口として、さらには長野県の南の玄関口として、どのような駅づくりをしていくのか。そのことによってどのような経済発展に結びつけられる開発ができるのかということが、これから私どもで考えていかなければならない一番大きな課題ではないかと思っております。その課題のうち具体的な課題については、ここ1、2年までが非常に大事な時期だというふうに思っております。これについては隣に牧野市長がおみえになります。いずれかの時期にぜひお考えを聞かせていただきたいと思います。私ども経済団体といたしましても、経済団体なんて言いましてもお金がありませんので、構想のご提言というか、発表ということになるわけですが、それらについても準備を進めていきたいと思っております。

それから、効果のお話でありますけれども、これにつきましては実際のところどういふふうな効果が出るかということについ

ては、今まではっきりしたことが、ただ観光客が増えるとか、場合によっては工場誘致ができるのではないとか、そういうことについてご発言があるなどして、何となく私どもも意識には思っておりましたが、本日の午前中に行われました経済開発協議会の役員会におきましても公式に発表させていただきましたが、この経済効果の調査を第三者機関シンクタンクをお願いをいたしまして、来年の3月から4月、5月ぐらいまでには一定の数字を持った経済効果の調査結果が出てくるのではないかと思っておりますので、それについても大いに期待をしたいと思っております。

地域づくりサポートネット

田中代表理事

2年前にこの三遠南信地域の住民団体でつくる住民ネットワークというのができまして、代表世話人は輪番制になっておりまして、今日から来年の今ごろまで浜松の私が担当することになりましたので、そちらのほうのお話をさせていただければというふうに思います。

今日午前中、私どもが議論して、来期というのか、今日から始まる新しい活動方針が一応決まりましたので、それに沿ってお話しさせていただければというように思います。今まで、参加の皆様からハイウェイ、あるいは幹線道路の整備、リニアの整備の話というのがあって、これは地元として我々にしても悲願であるということとは間違いないのですが、やはり地域といいますとハイウェイとか幹線と同時にバイウェイと言われる旧道、あるいは地域の道、もっといったら歴史の道まで含めて両輪になって初めて地域の道ができ上がるということで、ハイウェイで確かに大きな流れができるわけですが、地域内に魅力がなく、やはり「溜め」の魅力がなければ通過されてし

まうという問題も全国を見るとないわけではない。大きな流れをそれぞれの地域がどうやって「溜め」の魅力として受けとめておくかということもあわせて考えないといけないのではないかという認識をまず持っております。

それから人材のことですけれど、お話がありましたように、最近ここ数年、住民のいろいろな会合を見ていると、IターンだとかUターンだとか、今までちょっと我々年配の地域づくりにかかわった人間でない人たちが、我々の会合にもたくさん出てくるようになっていきます。そういう意味ではある面では将来性は明るいという期待を持ちながら、我々も一緒にやっているところです。私どもは住民ですから余力がないということもなるのですが、特に三遠南信圏の中の県境部分、大都市はもちろんあるのですが、やはりこの県境部分をしっかりコアとして道をつながないと、実は都市部との連携もできないという状況があるので、どちらかといえば3県境部分をしっかりつないでいくということの住民の役割というのをしっかりしていこうではないかというのが我々の考え方です。

お手元の資料、三つの柱を立てて、これからやれることからやっっていこうということで進めてあるのですが、一つは造語で大変申しわけないのですが、「地縁店」、鎖のチェーンではなくて、地縁で結ばれたアンテナショップをつくっっていこうということで、2年ほど前からやってまいりました。おかげさまでご理解いただいている場所もございまして、浜松の特選市場とか、今度は天竜市さんで指定管理に出していただいた施設のところで物が売れるということになりました。これで三河側に一つできると、一つずつですけれどアンテナショップができるということで、今後期待される新城インターができてきますと、多分この新

城市というのはほかのところと同じなのですけれど、東西南北のクロスポイントになってくる可能性があるのではないかということで、新城に三河側の今、アンテナショップができないかということで少し検討を始めているところです。

それから、もう一つは三遠南信の中の道路ですが、今、国道151号を中心に152号、特にここは非常に伝統的に全国にも誇れる、もっと国際的にも誇れるお祭りがたくさんある地域で、ここを祭り街道という名前で、もう既に地元の方たちがおやりになっているのですが、来年、お祭り街道の15周年という節目に当たるということもありまして、国道151号沿いのお祭り街道と152号を中心として、奥浜名湖も含めての遠州側のお祭り街道と合わせて祭り街道として、道につながる一つの活動の拠点にしていきたいと考えている。ここはたまたま五平餅の文化圏でもあるので、祭り街道と同時に五平餅文化圏という食文化のつながりもあるのではないかというような話も実はしているところです。

それから3番目ですが、これは特に若い人たち中心に起こっているのですけれども、いわゆるアートとかスポーツで結んでいこうという活動が非常に盛んです。太鼓があったり、映画のフィルムコミッションであったり、そういう若い人たちの活動が広がってきているものですから、もう一つの「溜め」の魅力としてアート街道、スポーツ街道というのもこの軸の中に入れてやっ、この3本の軸を中心にやっしていきたいと考えています。

特に行政の方、経済界の方につきましては住民もなかなか力があるわけでもありませんし、自分たちでできるわけでもありませんので、ぜひ行政、それから経済の方にも応援団になっていただいて、やっただきたいなと思います。先ほどのお祭り街

道については今一応、この国道151号については新城市長や飯田市長がいらっしゃいますけれど、その間を少し重点地区にしてやろうというふうに思っていますので、またご関係の皆様にはぜひ応援団となっていて、後押ししていただけるとありがたいと思っておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。

岩屋緑地に親しむ会 西川代表

今、皆様、いろいろ述べていただきましたので、私の述べるようなことを全部しゃべっていただきましたものですから、もうしゃべるような要素はないのですけれども、ちょっとつけ加えさせていただきますと、ちょっと豊橋関係についてお話していきたいと思えます。

実は豊橋のほうも国道23号、先ほど豊橋市議会の岡本さんがお話しされたように、全線開通しました。それは本当にうれしいことです。浜松からすっとう入れる。それから、私は今、二川というところに住んでいるのですけれども、国道1号がすごく渋滞します。といいますのは、湖西市へかなりの企業さんが出てこられて、もう満杯の状態、朝になりますともう7時ぐらいから8時半ぐらいまで、もう車がいっぱい動きがとれないというような状態でした。それが今、国道23号の開通によりまして、かなり国道1号が有利になりまして、そちらへ回るような形にもなってきてくれますので、非常に楽になっています。特にその二川校区というのは道路が山に迫っていますものですから、すごく狭い道路です。旧街道とバイパスが1本。2本しかなかったということもありましたものですから、国道23号の開通により、すごく交通の渋滞も少なくなって、特に子供たちの通学の安全性が確保できたというようなことを感じております。

それと同時に国道23号の豊橋バイパスについて、沿海部の大崎から前芝までの間が片側2車線になりました。それによって田原地域のトヨタ関連の車両がスムーズに通れますものですから、その間がすごく緩和されまして、朝夕のラッシュもスムーズに流れるようになりました。

また、豊橋地域では東三河環状線という道路があるのですが、これもなかなか整備が進まずにいたのですけれども、ここ2、3年、新しく工事も着手されまして、これからスムーズに行くのではないかなと思っております。

これにあわせて、三遠南信自動車道も開通していただけますと、三河港の利用価値がすごく高まってくると思えます。それから、今、三河港は自動車の基地でありますけれども、これがコンテナの基地に発展していけばすごく良いのではないかなと思っております。

それから、先ほども三遠南信住民ネットワーク協議会の田中さんからもお話があったように、住民団体も頑張っておりますので、皆様の協力を得ながら、仲のよい3地域に発展していければいいなと思っております。

コーディネーター/飯田市 牧野市長

それぞれの立場からお話をいただきました。

これまでご発言いただいた内容から、交通基盤の整備によりまして緊急医療体制の利便性の向上、あるいは観光などによる交流人口の増加など、様々な分野におきまして非常に良い効果が生まれてきているということが確認されました。また、地域経済の一体的な発展にもつながってきているということも確認できたのではないかと思います。

それでは、そういった整備効果をさらに

高めていくために、これから私どものSENAにおきまして構成員、あるいは関連組織が連携して取り組むべき課題は何であるかということにつきまして、ご意見をお聞かせいただければと思います。

自由にご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

飯田市議会 林議長

これから道路整備に向けて取り組む課題ということですが、今後、三遠南信自動車道が整備推進されることによりまして、医療サービスの向上とともに災害に強い地域のネットワークが構築されることとなります。こうしたことから、三遠南信地域の災害時の相互応援協定に伴う連携の促進が可能となりますので、災害時の安全、あるいは信頼性の強化が大きく期待される場所です。

そのような中で期待されている整備の効果が当地域に発揮されるためにも、ミッションリングと呼ばれております未整理区間が存在する三遠南信自動車道の早期全線開通が何よりも望まれるところです。道は全線開通して初めてその最大の効果を発揮するわけですので、1日も早い全線開通が願われるところです。

東三河、遠州、そしてこの南信州地域の市町村議会の議員で構成しております三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会を私どもは組織しております。この協議会におきましては、関係圏域の主要道路の建設促進のための調査・研究や、関係機関への要望活動を28市町村議員の総意のもとに行っているところです。今後もこれにしっかり取り組んでいきたいと思っております。

今後さらに整備を進めるためには、SENAを構成します地域住民、経済界、行政、議会、こういったところが一丸となりまして、国や県に対してしっかり要望を進めて

いくことが三遠南信自動車道の早期全線開通や、あるいはリニア中央新幹線の早期開業にもつながっていくと考えています。

地域づくりサポートネット

田中代表理事

今、建設のほうのお話があったのですが、多分道づくりというのと道使いというのが両方セットで道が生きてくるという感じもしますので、できましたら道づくりの協議会があると同時に道使いの研究とか協議をする場もぜひつくっていただければ、私どもの運動とも合いますので、つくることと使うことをぜひ両輪で進めていただくような体制をぜひ作っていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

コーディネーター/飯田市 牧野市長

また、そのことにつきましてはこれから検討させていただければと思いますが、道づくりの側面と、それから道使い、道をどうやって使っていくかという側面、両方必要ではないかというご発言でありました。

喬木村 大平村長

先ほどから同じような内容が出ているわけでございますけれども、やはり三遠南信自動車道といえばやはり三遠南信の250万圏域の南信州地域、さらにはリニア中央新幹線が来るということになれば、名古屋、東京の大都市圏がやはり圏域内に入るといって、こういった面でやはり南信州地域ばかりではありませんけれども、この三遠南信圏域がそういうことを見据えた中でいろいろなことがこれから広がっていくのではないかなと、そんな希望を持っております。新しい産業の創造などということはもう既に言い尽くされているわけですが、この三遠南信地域、やはり歴史の中で自然環境、それから文化の面でも非常につながりが深

いわけなので、南信州ファンの拡大をしなくてはならないということが第一かと思えます。自然を生かしたもの、そして、その地域でなくてはならない、そういったブランド的なものをきちんと磨く中で開通までにはそういう方向を持っていかなくてはならないと思います。

先ほども藤山先生がお話になっておりましたが、疎開保険なんていう言葉も出ておりました。そういう面でも災害時、それから緊急時の場合には南海トラフ地震等がある中では南信州もそういう役割を果たしていく必要があるということを感じました。それから、リニア中央新幹線と三遠南信自動車道があくということなので、県の南北のメインゲートとなれるように、これからはそういうものを目指しながら磨いていかなくてはいけないなど、そんなことを感じます。

飯田商工会議所 柴田会頭

整備効果を高めるために取り組むべき課題ということで、今、ご発言があるわけですが、三遠南信自動車道、本年度本当に大型の予算がつきまして、大きな工事が、着工区間もたくさんにふえてきましたが、全線開通、全線供用開始になるまでにはまだまだ相当な年月がかかるわけですし、その間の一番大きな課題は先ほど片桐会長のご発言にもありましたが、若い方々を含めた住民意識の高揚、「とにかく1日も早くあけてほしいんだ。」、「それがこの地域に住む、三遠南信地域に住む住民の願いなんだ。」ということをもっと気持ちを高めていく運動をしなくてはならない。その運動をすることにより、それが国会、あるいは国土交通省に熱意が伝わって、幾らかでも多くの予算がつくことによって1日、1年でも早い開通につながっていくということになるのだらうと思えます。私たちの生

活はこの道路が全線開通することによって大きく変化します。先ほど来言われておりますように、災害防災対策の問題、それから産業の発展、何よりも私たちの生活そのものが変わるということについて、若い人々を含めた住民意識の高揚、それを運動に具体的につなげて、国の予算拡大につなげていくことができれば、1年でも、あるいは1カ月でも1日でも早く開通につながるのではなかろうかなど、これが一番大きな課題ではないかと思っています。

浜松市議会 太田議長

私たちがこれまでと同じようにやはり国・県に対して一体となって要望活動していくということは何よりも大切なことだというふうに思います。

それともう一つは、私たちの地域が一体感をつくっていくために、各市町村で持っているそれぞれの、例えばアクセス道路の情報であるとか、そういった情報をお互いに共有して、地域としてメリットを高めていくということも大切だろうというようにつくづく思いますので、先ほどそれぞれの村長さん、町長さんがおっしゃっていただいたような地域の問題も含めて、問題、課題を共有していきたいなど、そんな思いを強くいたしました。

天竜商工会 平賀会長

特に県境域の開発には時間と費用がかかるわけでございます。SENA構成員の県境域開発の方向性が同一の思いとなり、相互の強力な連携と共同歩調により地域の有識者等を総動員して県と国、事業推進に向け、命かけてやっていくべきだと思います。強力な一体感が求められると思います。

飯田商工会議所 柴田会頭

補足になりますが、SENAの予算を使

って経済効果の調査を行うということについて、皆様にお話をさっきさせていただきました。それから、さらにこの民意を高めるということのために、例えばですが、この机の上にありますこういう小旗、こんなものも相当数、とりあえず500本注文して、皆様のできるだけ近いところに届くように工夫しております。それから、さらにはリニアが走るポスター、それから三遠南信自動車道ができ上がったときのポスターなどをたくさん印刷しまして、皆様の企業、それから団体などのところに張っていただくような運動をしております。そういったことの相乗効果でこの地域の民意が上がって、その心が、その気持ちが国へ届いて予算獲得につながっていけば良いと思っています。

コーディネーター/飯田市 牧野市長

それでは、大体意見もきょうのところは尽くされたということですので、意見交換の取りまとめに入っていきたいと思えます。今回の意見交換によりまして、主に四つの点について意見交換がなされたというようにとらえさせていただきます。

まず、三遠南信自動車道の整備状況についてであります。これにつきましてはお話がありましたように、三遠南信自動車道の一部供用、それからあと新東名高速道路、御殿場インターチェンジから三ヶ日ジャンクションの開通によりまして、またそれらに接続する幹線道路やアクセス道路の交通量が増加するという中で、交流人口の増加、観光客の入り込みがふえるというようなことで、地域への経済波及効果が上がってきているということが確認されたところであります。

また、地域の重要な交通基盤となっております幹線道路、アクセス道路の整備、先ほども名豊道路等幾つかの幹線道路のお話も出てきておりますが、そういったことに

つきましても渋滞の緩和や生活環境の改善、あるいは安全、安心につながっているということも確認がなされたというふうにとらえております。これがまず1点であります。

それから、三遠南信自動車道への期待、要望ということを2点目にまとめさせていただきます。

南北軸であります三遠南信自動車道に東名高速道路、それから新東名高速道路、浜松三ヶ日・豊橋道路、将来的にはリニア中央新幹線、こういった広域的なネットワークが形成されているということによりまして、三遠南信圏域の交流人口はさらに増加していくことが期待されております。また、産業の発展、活性化ということも合わせて期待がされているところでございます。

また、安全・安心という観点から見ましても、早期全線開通によりまして救急医療機関への搬送時間の短縮、あるいは津波、地震、大雨等によります大規模災害時におきましては、避難経路の確保、円滑な救援や復旧活動、救援救急医療活動がこうした必要な道路によりまして期待ができます。つまり、命をつなぐ道としての効果を発揮することができるということが大いに期待がされているということも確認されまして、だからこそミッシングリンクとしての位置づけがなされている三遠南信自動車道を1年でも早く早期に整備ができないかと、こういうことが強く意見交換の中でも打ち出されたところであります。

それから、参加者の皆様方からの提案も幾つかあったということでもあります。商工会議所・商工会が加盟いたします三遠南信地域経済開発協議会からは早期全線開通への足がかりにつながることを期待したいということで、本年度経済効果調査についてのご提案をいただきました。また、住民ネットワークの皆様方からも活動方針案が示されまして、幾つかの具体的な連携や展開

についてのご説明もいただきました。また、道づくりの話とともに、いかに道を使うかという道使いの話も合わせてご提案もいただきました。

それから、三遠南信の連携を強固にするためには、やはり一体感をどのように醸成していくかと、こういうことにつきましても幾つかの意見の中で取り上げられたところでございます。企業や住民同士の交流や意見交換をさらに定期的にしていくことが必要ではないかというようにとらえさせていただいたところでございます。

そして最後に今後の展開といたしまして、三遠南信地域連携ビジョン推進会議が各団体の要望活動をしっかりと把握して、行政、議会、経済界、住民、こうしたさまざまな立場の皆様方が一丸となって国や県に対しまして継続的な、そして強力な要望活動を展開するということが非常に重要であるということが確認されたというものでございます。

以上四つの点につきまして、まとめとさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、こうしたことをまとめさせていただいて、後ほど全体会で発表させていただきたいと思っております。

最後に、せっかくの機会であります。今日はわざわざ八戸市から大坪様にこの分科会に参加していただいておりますので、一言いただければと思います。よろしく願います。

八戸市 大坪総合政策部長

八戸市から参りました大坪でございます。大変有意義な時間を過ごさせていただきました。この三遠南信地域、人口250万人都市圏、青森県は今、人口にいたしまして140万人を切っていますので、この圏域に

比べますと1県でも及ばない、そういった県境を越えた広域での道づくりの推進の会議というのはすばらしいなと感心した次第でございます。

私どもは八戸市から三陸沿岸地域、宮城県の気仙沼、仙台まで360キロございます。その中でこれまでサミット会議を、昭和59年からずっと継続してきておりまして、沿岸道路の整備を要望してきておりました。東北地方の幹線の主要自動車道といいますと、内陸部を走っている道路が東京から福島、仙台、盛岡を通過して青森までというような路線になっておりますが、三陸沿岸はそういう意味では交通の過疎地でした。しばらく要望を続けておったのですけれども、3・11の被災を受けまして、三陸復興道路として全線開通しました。国の施策の流れとしても、いわゆる公共事業に対する国のスタンスが大分変わってきているのかなという気もしますし、そういう意味ではやはり経済交流としての高速道路の意味づけというものもあるかと思いますが、私どもの経験したところからしますと、やはり命の道というのは非常に強いインパクトが国に対してもあるというように思っておりますし、また、災害時だけではなくて平時も救命救急を初めとする医療を支える命の道としまして、非常に大きな機能、効果を発揮すると思っております。

先ほどもちょっとシンポジウムの中でお話をさせていただいたのですけれども、定住自立圏という広域の連携策を進めておりますけれども、ドクターカーを導入しております。これは救命救急です。ドクターヘリで補完できない夜間とか、それから天気の悪いときにドクターカーが出動して行きます。今、八戸の市民病院に2台あるのですけれども、平成22年度から当院に在籍し、今年で4年目になります。この2台の効果を申し上げますと年間50名前後の方々の命

を救っています。これは劇的救命率と言っているのですが、劇的に救命ではそれぐらいできているということがありますので、やはりその辺のところはこの圏域におきましても、高速道路というのは効果発揮するのかなと思った次第です。

いずれにいたしましても、すばらしい地域の資源が豊富にある地域でございますので、それを最大限生かすためにも高速道路の整備というのは欠かせないのかなと思っております。

コーディネーター/飯田市 牧野市長

大変貴重なご意見をありがとうございます。

皆様方のご協力によりまして円滑かつ内容の濃い意見交換ができたというように思います。改めて御礼を申し上げます。

それでは、以上をもちまして「道」分科会を閉会とさせていただきます。